

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年3月10日（金）

2 確認箇所

- ・免震重要棟集中監視室
- ・測定・確認用設備（多核種移送設備建屋、K4タンクエリア）

3 確認項目

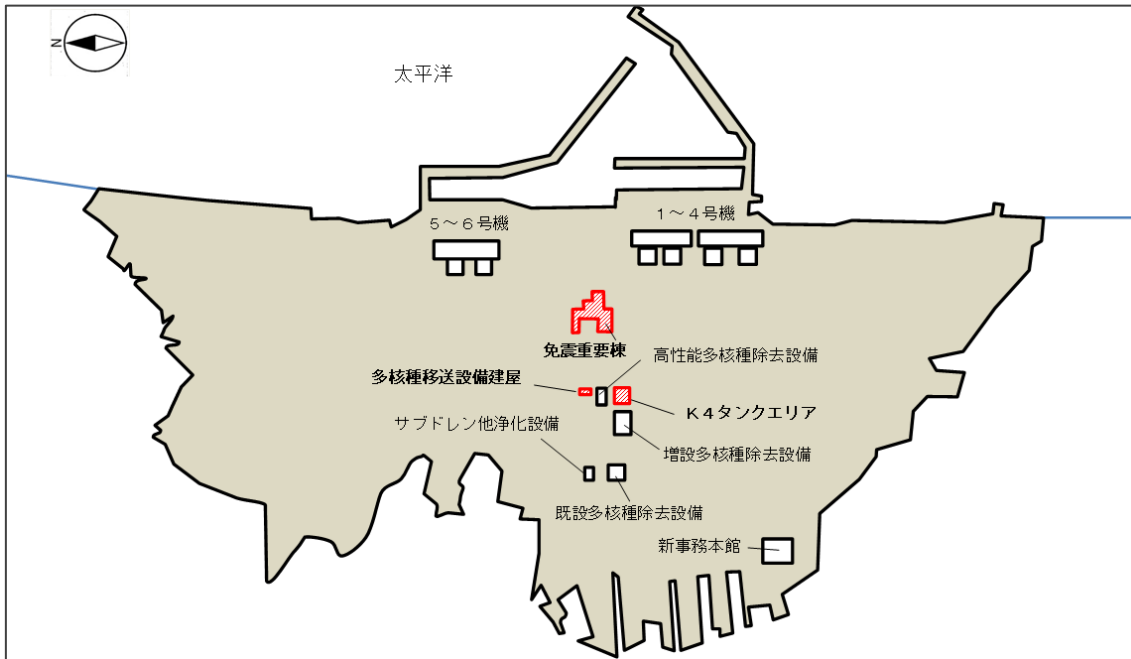
多核種除去設備等処理水希釈放出設備及び関連施設の使用前検査の状況

4 確認結果の概要

多核種除去設備により、汚染水から放射性物質（トリチウムを除く）を安全に関する規制基準を確実に下回るまで浄化されていることを確認した水（以下、「ALPS処理水」という。）は、トリチウム濃度が規制基準を厳格に遵守するだけでなく、政府の基本方針に基づき、1,500Bq/L未満を満足する濃度になるよう、海水で大幅に希釈され、海洋へ放出される計画となっている。本日、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき、ALPS処理水希釈放出設備及び関連施設のうち、測定・確認用設備※について、東京電力が原子力規制庁による使用前検査を受けていたことから、免震重要棟集中監視室並びに測定・確認用設備において状況を確認した。（図1）

- ・免震重要棟集中監視室にて、測定・確認用設備であるK4タンクエリアのタンク群毎に、攪拌機（10基）の起動操作、循環ポンプ（2基）の起動操作が行われた。
- ・多核種移送設備建屋及びK4タンクエリアにおいては、系統構成確認や循環ポンプの運転状況確認、循環ポンプ運転時における循環配管内の通水音確認等が行われた。（写真2）

※測定・確認用設備 測定・確認用設備はALPS処理水に含まれる放射性物質濃度の均質化及び放出前の試料採取を目的に、測定・確認用タンク、攪拌機器、循環ポンプ、循環配管、受入配管により構成されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
K4タンクエリアにおける系統構成
確認の状況



(写真1-2)
多核種移送設備建屋における循環ポンプ・電動機の異音確認



(写真1-3)

K4タンクエリアにおける循環配管内の通水音確認

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。